

科目 8 認知症の方の介護

「ふれあい教室」

認知症の方との接し方

認知症の方は、以前は出来ていたのに出来なくなる、
思い出せないことが増える

そのことが受け入れられず、精神的に不安定になり
急にふさぎ込んだり、怒りっぽくなり、周囲と
トラブルを起こすこともあります

接し方の基本ポイント

1. 本人の話をよく聞く

自分を受け入れてもらえたという実感を持ってもらうことが大切

言葉でうまく表現できないことも有るので、何が言いたいのか本人の気持ちを考えながら耳を傾けましょう

2. 話しかけるときは明るく、ゆっくりとした口調で

本人の耳元で、大きな声でゆっくりと語りかける

3. 間違いを否定しない、本人のペースに合わせる

間違ったことを話しても否定せずに受け入れる

そのためには、嘘も方便で「ああ、そうでしたね」とその場を収める返事をして、感情を刺激しないように

また、動作が遅くても急がせず本人のペースで

4. プライドを傷つけない

子ども扱いや、無視、叱るなど、プライドを傷つけるようなことはしないことが大原則
頷いて話を聞きましょう

認知症が引き起こす主な言動・行動と対処法

1. 食事をしたばかりなのに、また食べ物を催促する

「さっき食べたばかりでしょ」と否定せずに、相手の気持ちに共感した上で、話題をそらすなどして他のことに関心を向けさせる

2. 「家に帰る」と言って外に出ようとする

本人は自宅と認識できていない。「一緒に出掛けましょう」と否定や説明をせず、本人の訴えにも耳を傾け、気分転換のための言葉かけが有効なこともあります

3. トイレに行けずに漏らしてしまう

本人は失敗によって既に自尊心が傷ついているので、追い打ちをかける言い方は禁物

毎日、決まった時間や食前・食後にトイレに誘導してみる

4. 財布を盗まれたといって怒り出す

置いた場所の覚え違いをしており、見当たらないので盗まれたと思い込んでいます 逆らわずに一緒に探してあげるなどの対応をし、そのとき介護者が先に見つけた場合でも、本人に見つけてもらうように上手く誘導しましょう